

東日本大震災

名古屋って、あったかくて
いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、
でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

平成31年4月25日発行 (第107号)

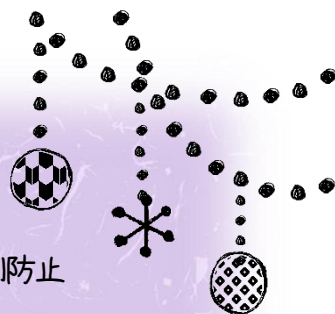
本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日9~17時)
FAX：052-917-0702
Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



至るところで、「平成最後」というフレーズが使われたり、「平成30年を振り返る」という企画がされていますが、いよいよ「令和」時代が始まりますね。「令和」の出典は万葉集で、明日への希望と共に、日本人1人ひとりが大きな花を咲かせるという願いが込められていると言われています。そんな時代になりますように…。

あなたの経験を名古屋の人に伝えてください



以前もお伝えしたように、名古屋には、16区全てに「災害ボランティアグループ」があり、災害時は、災害ボランティアセンターを通して、被災現場で被災者の困りごとを解決するお手伝いをする一方、平常時には、身近な地域で、防災訓練や防災イベント、家具転倒防止活動など地域の防災力を高めるための様々な活動をしています。

行政・社協や関係団体などの取り組みも重要ですが、地域で助けあうこと、何より各自が、自分の大切なものを守るために備えることの重要性を伝えていくことにも、災害ボランティアは力を入れて活動しています。

そこで、学区や町内会など地域団体が行う勉強会、高齢者施設・保育園などの施設、子育てママたちの集まり(子育てサロン)などでの出張講座などで、「かたりべ」としてお話をさせていただける方を募集します。

例えば、①地震発生時のこと、②家族との連絡方法、③住まいのこと、④避難所のこと、⑤名古屋に来た理由、⑥役に立った備えやあると良かった備え、⑦今、伝えたいこと…など、皆さんの経験や想いを、名古屋の皆さんにお話しいただけませんか？

既に色々な場でお話しいただいている方もいると思います。ぜひ、災害ボランティアの方たちと一緒に活動しましょう！

「やってもいいよ!」「話を聞いてから考えたい」など、色々な方がいると思います。興味を持っていただいた方は、ぜひ

「被災者支援ボランティアセンターなごや」にご連絡ください!(連絡先は、上記参照)。



毎年 QUO カードを寄贈していただいている「名古屋西ロータリークラブ」さんの集まりで、お話をさせていただきました(4/18)。

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:2019年5月7日・21日、6月4日・18日 全て火曜日 10時15分~12時

会場:名古屋市総合福祉会館6階 録音編集室 (北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ

材料費:1回500円~(実費相当)

被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。



バラのブローチです